

経営比較分析表（令和6年度決算）

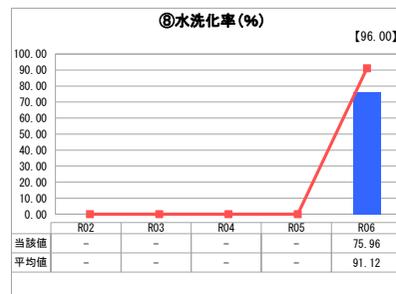
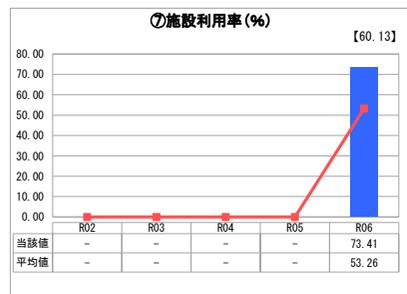
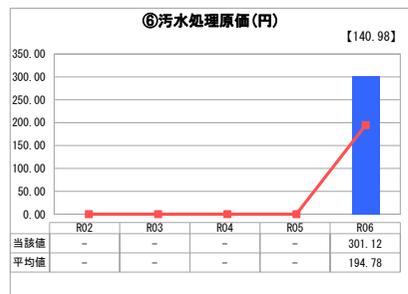
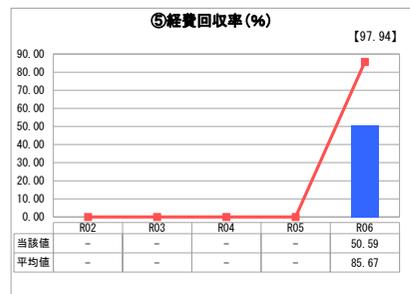
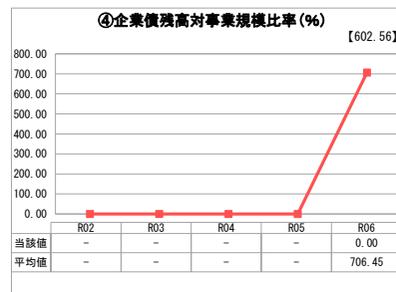
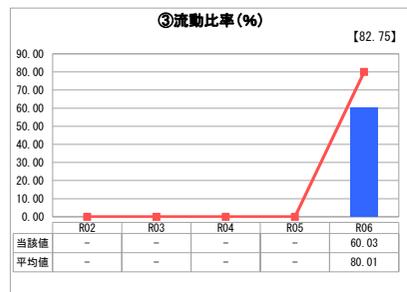
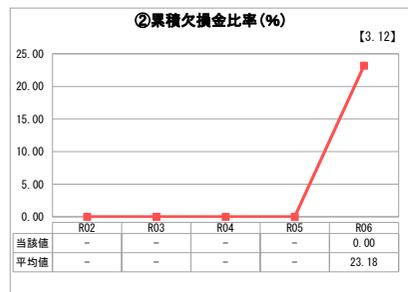
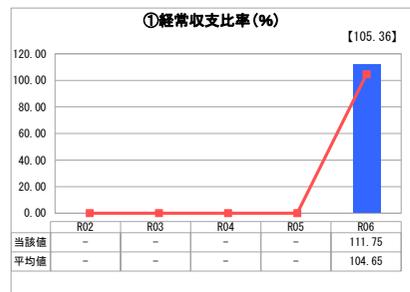
栃木県 益子町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	58.90	23.04	68.72	2,860

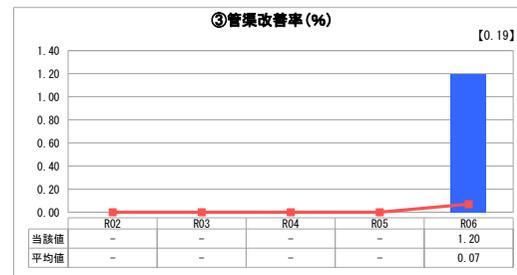
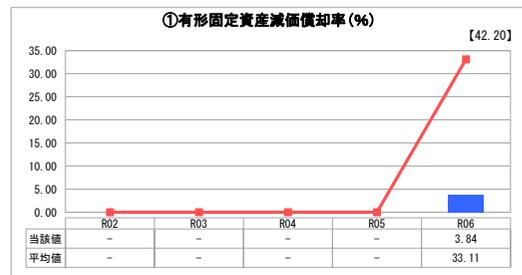
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
21,360	89.40	238.93
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,895	2.58	1,897.29

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は類似団体平均値をやや上回っているが、一般会計からの繰入金に依存した経営となっている。
 ②流動比率は類似団体と比較して低い数値となっている。償還・返済の原資を使用料収入等により得ることが予定されている。
 ③流動比率は類似団体と比較して低い数値となっている。償還・返済の原資を使用料収入等により得ることが予定されている。
 ④企業債残高対事業規模比率は0%であるが、整備面積の拡大や処理場施設の増設など投資事業を実施しているため、地方債の借入は増えている。
 ⑤経費回収率は100%を下回ってしまっている。適正な使用料収入の確保のため、令和8年度使用料改定予定。
 ⑥汚水処理原価や⑦施設利用率は類似団体を上回っている。汚水処理経費削減に向けた取り組みが必要である。
 ⑧水洗化率は類似団体と比較すると低い状況である。安定した維持管理等を行う貴重な財源確保のために、今後も水洗化の促進を図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

供用開始後30年以上経過しており、施設の老朽化が進行しているため、H30年度に策定したストックマネジメント計画に沿って、計画的に処理場施設や管路施設の点検調査を実施し、修繕や更新に努めている。

全体総括

益子町の下水道事業は令和6年度から法適用に変わり、前年対比の数値は今回の表中には存在しないが、急速な人口減少に伴うサービス需要の減少が見込まれる。また、処理施設の更新需要の増大及び物価高騰による営業費用の増加に対応するため、今後も下水道管渠や処理場の維持管理をしていき、経費削減や使用料改定による収入増など経営改善の努力を継続していく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。